

ROAD

発行 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
 上智大学教育学事務室内
上智大学教育学科同窓会
 TEL (03) 3238-3650 FAX (03) 3238-3980
 編集責任者：教育学科同窓会会長 佐々木正文

上智大学教育学科同窓会会報

2011年度講演会・総会を

11月19日に開催

「大人の教育」企業の新人研修とOJT制度

講師は、田中淳子さん(グローバルナレッジネットワーク株式会社)

本年度の教育学科同窓会講演会・総会・懇親会は、十一月十九日に開催いたします。講演会講師は田中淳子さん(一九八六年卒)にお願いしました。

田中 淳子

(たなか・じゅんこ)さん



【略歴】

グローバルナレッジネットワーク株式会社 人材教育コンサルタント、産業カウンセラー。一九八六年上智大学文学部教育学科卒。日本デジタルイキュイップメント(現・日本H P社)を経て、九六年より現職。「ヒューマン・スキル」分野において「働く大人の学び」を支援して二十五年。これまでに『日経ニプロフェッショナル』『日経SYSTEMS』『日経コンピュー

タ』で「コミュニケーション」

「若手育成」のテーマで連載。

著書は『速効！ SEのため

のコミュニケーション実践塾』

(日経B P社)、『速効！ SE

のための部下と後輩を育てる

20のテクニク』(同)、『はじめ

めの後輩指導』知っておきたい

30のルール』(日本経団連

出版)など。日経B P朝イチメ

ールをまとめた初エッセイ集

『コミュニケーションのびっく

り箱』Junko-in-the-box』は

電子書籍として発行。硬い文章

から気軽に読めるエッセイまで

幅広い。ブログ「ヒューマン・

スキルの道具箱 Neo」「田中淳

子の“大人の学び”支援隊！」。

田中さんからのメッセージ

企業における人材教育に携わって二十六年目に入りました。というものの、「人材教育」「人材育成」というより、最近では「働く大人の学び支援」という言い方を私はするようにしています。学び手が主体であるべきだと思

いったいわゆる「ヒューマンスキル」分野で、主に研修の講師(あるいはファシリテーター)をしています。今年から営業も兼任となりました。

今回、同窓会役員の方にお誘いいただき、皆様の前でお話する機会を得ました。私が二十年以上携わってきた、企業の新人社員研修の様子と、この十年ほどライフワークのように取り組んでいる、企業のOJT制度とそれを取り巻く現場の方たちから聞いた様々な例を紹介しようと考えています。また、大学教育と企業の人材教育の橋渡しについて感じていることも少しだけ触れるつもりです。

田中さんの講演会は午後二時から、八号館の207教室で行ないます。総会もここで開催し、四時からの懇親会は、会場を中央図書館の奥にある十一号館七階の第1会議室に移します。終了時刻は六時の予定です。懇親会費は三千元です。当日受付でお支払いください。現役学生は参加費無料です。

仕事に、子育てに！ がんばってきた二人の素敵なお話

岸本泰子さんと田口小枝子さん（一九八五年卒）のトークショウから

昨年十月二十三日に開催しました卒業生お二方によるトークショウには、参加者から「元氣の出るエネルギーをもらえた」「女性の自己実現への強い意志と行動力に脱帽」といった感想が寄せられました。大変好評であったお二人のお話の一部を、当日進行役を見事に果たされた渡邊智子さん（一九八五年卒）にまとめていただきました。

司会 完全に理系で大変でした。（苦笑）製図の試験は条件を一つも漏らさず制限時間内で家一軒を設計するもの。大学受験並みに勉強して一発で合格しました。

岸本 新任の時はダメなものばかりでしたね。今はオーラが出せるようになりました。ちょっと見逃して次に言おうかなとか。見栄も張らなくなりましたね。パソコンは無理とか。（笑）今が一番楽しく仕事しているかもしれません。生徒は毎日見たこともないことをやってくれる。教師は5秒で対応しなければならぬ。でも経験があるからアイデアが出てきます。自分の子どもと同じ中学生になり生徒を見る目も温かくなりました。保護者と分かり合える部分も大きいですね。

司会 田口さんは自宅の建築がきっかけでインテリアコーディネーターになられたんですね。
田口 自分のイメージする家と提案される家に違いがあって、勉強してみてももしかしたらこれを仕事にできるかもしれない」と思ったのです。資格を取り、サポート業務から始め、現場で大工さんにも教えてもらいながら十年働き、その後2級建築士の資格を取ったのですが、

田口 私の仕事も四十代後半はやりやすいです。主婦や子育て経験によってお客さまのライフスタイルが見えてくる。アイデアが出てくるのがこの年代の特権ですね。

人とのつながりの中に働き、生きていく。

司会 岸本さんのご家庭はご主人が早期退職をして専業主夫をされています。

岸本 長男が小3、双子の次女が小学校に入学する時に彼から言い出して。それまで家事は全部私で、料理など作ったこともなかったのですが、今は家事全般をやってくれています。おかげで私は教師の仕事に全身全霊でできて、本当に恵まれています。

司会 田口さんの上の娘さんは上智の教育学科4年で高祖ゼミに所属しています。
田口 金曜の限からで、とても厳しいそうです。（笑）私は結婚前から「子育てを十年したらもう一度働く」という人生設計



向かって左が田口さん、右が岸本さん

を持っていたのですが、振り返ってみると納得した子育てができたし、自分らしい働き方を選ぶことができたと思います。

司会 岸本さんは主任教諭の立場で若い先生のサポートもしているのですね。

岸本 今は昔より子どもや保護者との関係が難しいし、みんな忙しい。その中でいつでも若い先生の話をおープンに聴いてケアできる存在でありたいと思っています。スクールカウンセラーとの連携もいいですよ。カウンセラーの「そのままがいいんだよ」という目線は生徒に自己肯定感をもたせてくれます。

私は、今自己肯定感を生徒の心に育てることが何より大事だと思っているんです。

司会 田口さんのお仕事の今後の課題は？

田口 二〇二〇年でリフォームの視点が建物から人へ移ってきたように思います。高齢化で介護面での需要も大きくなっています。最近福祉住環境コーディネーターの資格を取りました。これからも施主さんがどういう暮らしをしたいのかを丁寧にヒヤリングし、居心地のいい空間を提案していきたいと思っています。

司会 最後に、教育学科で学んだと思うことは？

田口 先生方から生き方を学び、一生つきあえる友人を得たことです。自分の生き方をみつけ、人の生き方も認めることができたと思います。

岸本 教育学科は小さな学科だからこそ先輩・同輩・後輩とたくさんふれあえた。そんなふれあいを今度は子どもたちに返していきたいですね。

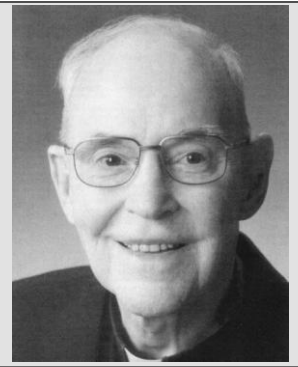
この後に開催された総会では活動報告、会計報告が承認され、懇親会では高祖敏明先生より大学の未来に向けた力強いお話を伺うことができました。

ルーメル先生、有難うございました

クラウス・ルーメル先生が3月1日に肺炎のため94歳で帰天されました。上智学院理事長を二度にわたり(1957~1965、1987~1992)務められた先生ですが、同窓生にとっては「西洋教育史」「道德教育の研究」、そして教育そのものを教えていただいた大切な恩師でした。

お通夜は3月3日、葬儀ミサは3月4日に密葬として執り行われ、また「お別れの会」が5月18日に開催されました。

ルーメル先生、どうぞ安らかにお休みください。



ルーメル先生の思い出

真田 純(一九八三年卒)

三月に急逝されましたルーメル先生に改めて追悼の意を表する者であります。ルーメル・ゼミ始まって以来の不肖の受講生であった私が紙面を汚す無礼を平にご容赦願いたく存じます。断片的に思い浮かぶルーメル先生の在りし日の御姿の中でもひととき印象深かったのが、夜の宴の際にフルートを吹かれるシルエットの神々しさであります。それはもう、領地の安寧に心を砕く日々を追われつつもフルートの演奏を唯一の手慰みとしたフリードリヒ大王か、哲学の思索の合間にフルートを好んで手にしたというシヨープンハウエルの再来と言っても過言ではない気高さに包まれておりました。

縁あってルーメル先生の西洋教育史のゼミに参加させていただくことになりました。テキストは、D・ホフマン(Dietrich Hofmann)の『教育学(Erziehungswissenschaft)』の原書でした。構造主義等の思想のせめぎ合いの中で、学問としての教育学の立ち位置を明らかにしようという書物だったと記憶しておりますが、肝腎の中心味はチンプンカンプンで、卒業後の進路選択に大学院進学も、という私の甘い幻想を粉碎して余りある難解さでありました。一学年先輩の夏秋さん等に勉強会を開いていたのですが、「メタ理論(Metatheorie)」や「メタメタ理論」によって頭の中はメタメタにされてしまい、学問の道の厳しさを痛感したのでした。今にして思えば、ルーメル先生は私が研究者に向いていないことをゼミの初日に見抜いておられたのでしよう。教員採用試験の準備をする私を優しく見守って下さり、下書き三日、清書を二日という粗雑きわまりない卒業論文を通して下さった先生の度量の大きさにただただ感謝するのみです。故ルーメル先生のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

『再会 旧友から親友へ』

一九八六年度卒 銀祝レポーター

長尾 和洋・岩田 由美子

今年も「オールソフィアンの集い」(五月二十九日)において銀祝の祝状授与式と同窓会による祝賀パーティーが開催されました。「旧友から生涯つきあえる親友になろう」の思いをこめたスローガン。震災の影響もあり、準備に不安はあったものの、八一諸先輩のアドバイスと励ましの宴会プレゼントを原動力に、無事完遂できたようです。

台風による大雨の中、銀祝の式典とパーティーに参加しました。案内が届いた時は迷いましたが、友人に「この先、何があるかかわらないから皆と会いましょう。」と言われ参加を決めました。上智大学には、十年前前のソフィアンズデーに子連れで行って以来でした。

新しい建物が増える中、ピロティを通ると学生時代が懐しく思われました。十号館に入ると金祝でいらした方々の元氣そうな姿に圧倒されました。式典では、今こそ「他人を思い遣り他人の為に尽くす」精神が必要とされていることを実感しました。パーティー会場に私達教育学科は十二名程集まり、お互い近況を報告し合いましたが、皆あまり変わらぬ様子でした。卒業後の二十五年は、前半は会社勤め、後半は子育てとあっという間でした。これからは少しでも多くの人と絆を深めていきたいと思えます。次回金祝でお会いしましょう。(岩田)

八二―一四クラスのパーティー出席者は、昨年比で若干少なかったものの、和氣藹々とした和やかな雰囲気の中で、暖かな気持ちの時間を過ごすことができました。集まった方々が上品な性格?だったせいか、雨だったせいか、二次会は「しんみち通り」ではなくニューオータニの「トレジャーヴィックス」(バー)で…。秋の同窓会総会に合わせて、是非「八二―一四同窓会」をやりたいねということでは話はまだあります。二十五年の月日をジャンプした、若々しい面々でした。(長尾)

増淵幸男先生がご退任に

増淵幸男先生が本年三月をもってご退任になりました。教育学科OB（一九六九年学部卒）でもある先生は「教育哲学」を担当され、特に近・現代ドイツ教育学を中心に、異なる思想に基づいて人間形成学を分析されてきました。

一月二十六日に「教育哲学」の最終講義が行われましたが、「講義の最後に過ぎず、特別なことではない」との増淵先生のご意向を受けて同窓会HPでもお知らせいたしました。（学内での掲示や懇親会等も行われなかったそうです）

これまでのご指導に感謝申し上げますとともに、研究生活を続けられる先生の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

加藤守通先生がご着任

増淵先生の後任として、四月に加藤守通（モリミチ）教授が着任されました。加藤先生は「教育哲学」「西洋教育思想史」を専門にされています。教育学科の伝統である「哲学」を守られる先生です。

学位授与式について

東日本大震災の後、大学全体としての式は中止となり、学科ごとの学位授与式が三月二十三日に行われました。

当日は卒業生の保護者の出席もかなわず、また卒業生が九名も出席できないという状況であり、同窓会は記念品と会長からの挨拶文の配布を、学科事務室の宮崎さんをお願いしました。

香川初代会長ご遺族より

昨年七月に亡くなられた香川弘初代同窓会会長のご家族より同窓会に感謝のお手紙をいただきました。その一部をご紹介します。

「父は上智大学の卒業生であることに誇りを持っていましたので、肺がんを患ってからも上智での学びやお付き合いを励みに治療していたところがとても大きかったと思います。」

「今まで同窓会では色々お世話になりました。葬儀にはお花をいただきまして、本当にありがとうございました。高祖先生が遠方まで足をお運びくださったことにも感謝しております。」

上智大学教育学科同窓会 会計報告（案）

（2010年6月1日から2011年5月31日まで）

項目	収入	支出
前年度より繰越金	2,470,444	
1 終身会費	220,000	
2 同窓会参加費	69,000	
3 利息	564	
今年度収入小計(1+2+3)		
収入合計(1)	2,760,008	
1 発送料		141,260
2 ROAD印刷代		108,675
3 会場使用料		25,890
4 同窓会飲食費		75,664
5 講師へのお礼		12,100
6 会場お花代		4,000
7 資料代		1,880
8 慶弔費（卒業祝）		48,102
9 文具代		5,270
10 振込手数料		630
11 会議費		1,700
12 ネット使用料		20,150
13 カード年会費		1,312
支出合計(2)		446,633

今期の収支は、-157,069円となり、前年度の繰越金から充当しました。

収入合計(1) - 支出合計(2) = 残金 2,313,375円

上記の通り、会計報告いたします。尚、残金 2,313,375円は2011年6月以降の同窓会費に引き継ぎます。

2011年8月13日

上智大学教育学科同窓会

会計担当 伊藤 奈美予

監査の結果、上記の通り相違ないことを認めます。

2011年8月13日

会計監査 神林 達郎

高橋 秀和

同窓会会計より

終身会費の納入にご協力くださいました皆様、厚く御礼申し上げます。昨年度はより多くの同窓生の皆様からご支援を得ることができました。

なお、会費未納の方は一万円を次の口座までお願いします。（振込ご依頼人の前に、卒年を西暦でお付けください）

ゆうちょ銀行（店番）〇一八
普通 一六二六四八二
三井住友銀行三鷹支店
普通 七一四七八〇〇

「上智大学教育学科同窓会」宛

事務局より

この度の東日本大震災で被災された同窓生の皆様、ご家族、ご親戚、ご友人、関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

★ ★
色々なことを考えざるを得ない年となりました。第十七号をまとめながら、「時の流れと変わらぬ精神」などと考えておりましたが、大学も学科も変革期にあることに間違いはありません。さて、同窓会は…今年役員改選の年。総会にて人事の提案がなされます。（票）

2011年度同窓会のご案内

11月19日(土)午後2時から講演会(8-207)、4時から懇親会です。(11-7F-第1)出席希望者は同封のFAX用紙かメールでご連絡ください。世代を超えた同窓生の参加をお待ちしています！

教育学科同窓会ホームページ
<http://www.sophia-education-alumni.jp>